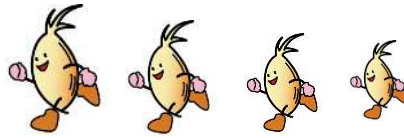


令和7年8月1日（金）

報道発表



団体名：東三河広域連合

担当者：消費生活課

課長補佐 夏目 智弘

問合せ先：0532-51-2553

件名：NTT・総務省・警察をかたり、
個人情報や金銭を要求する電話にご注意ください！

『HSN station 最近の相談※』

東三河広域連合では、域内8市町村に消費生活相談センター・相談室を設置し、国家資格を有した消費生活相談員が月～金曜日の9時～16時30分、様々な消費生活相談に応じています。

困ったときは、早めにお近くの消費生活センターまたは相談室にご相談ください。

【NTTや総務省、警察をかたる不審な電話によるトラブル】

事例1：自宅の固定電話に「+」から始まる番号でNTTを思わせる名称を名乗り「2時間後に電話が使えなくなります」と自動音声ガイダンスで電話がかかってきた。詳細を確認するため、自動音声ガイダンスの指示に従い「1」を選択すると男性が応答し、氏名、生年月日を聞かれたため、伝えると一方的に電話が切れた。その後、NTTの窓口で電話をかけて確認し、詐欺電話であることが分かった。個人情報を悪用されないか心配だ。（60代・男性）

■同様の相談が多く寄せられています。NTTや総務省は、電話の停止について自動音声ガイダンスを利用して連絡することはありません。知らない番号や非通知電話からの着信は、個人情報を搾取することが目的である可能性があるため、慎重に対応し、決して個人情報を伝えないようにしましょう。

事例2：スマホに「+」から始まる下4桁が「0110」の電話番号から着信があった。警察からの電話だと思い、電話に出た。相手は他県警の警察官を名乗り、私の氏名・住所を知っていた。「逮捕した詐欺グループの持ち物に、あなた名義の銀行口座があった。その口座が資金洗浄に使われているため、逮捕する」と言われ、LINEのビデオ通話に誘導された。制服姿の警察官を名乗る相手から、警察手帳を見せられ、信用した。氏名・住所・生年月日・家族構成・家族の勤務先を聞かれ、詳細に答えてしまった。相手からは、「金銭を振り込む必要がある」「夜にまた連絡する」と言われ、ビデオ通話が切れた。家族に相談すると詐欺だと言われ、それ以降の連絡は無視している。（20代・女性）

■警察はLINEでやり取りすることではなく、SNSのメッセージやビデオ通話に案内された場合は決して応じてはいけません。警察からと思われる電話であっても、まずは所属・担当部署・氏名・内線番号を聞き取り、一旦電話を切って、その後、自分で調べた警察署に相談しましょう。

【留意点と対策】

国際電話（+1、+44等から始まる番号）を利用した特殊詐欺事件が多発しています。固定電話への海外からの電話は、国際電話不取扱受付センター（0120-210-364）に申し込むと無償で休止できます。利用しない方は以下を参考に手続きしましょう。

取扱時間 オペレーター案内：平日午前9時から午後5時まで

自動音声案内：平日・土日祝日24時間

Webからの申し込み <https://www.kokusai-teishi.com>

※HSN station とは…東三河広域連合消費生活センター相談ニュースの頭文字から命名。